

6 月定例会議 振り返り事項

※各委員は委員長が定める期日までに、委員長にご提出ください。

※委員長は委員会内で協議を済ませ、議長に提出ください。

氏名 正村 紀美子

1 自らが所属する常任委員会で追跡調査すべきと考える政策・事務事業等
(1) 一般質問から ①契約事務について 契約事務は、町民の税金を用いるだけでなく、住民サービスの質、地域経済、公平性・透明性・競争性に関わる重要な行政運営である。一般質問では、個別の契約結果は公表されている一方、契約方式別件数、随意契約の理由、契約変更、同一事業者への継続、落札率や一者見積りの状況などを体系的に把握・分析する仕組みが十分ではないことが明らかになった。契約審査会は主に契約前の手続を確認する場であり、決算審査は予算執行全体を対象とする。だからこそ常任委員会では、毎年度の契約事務から、契約方式の選択、仕様や金額変更、履行結果、住民サービスへの影響、地域事業者活用の妥当性などを抽出し、委員会調査として検証する必要がある。地方自治法第 96 条が契約を議会の議決事件としている趣旨も踏まえ、議会是个別の議決にとどまらず、契約事務全体の傾向を継続的に確認し、次の改善につなげる責任があると考えます。 ②地域集会施設について 地域集会施設再整備計画は、単なる施設更新や配置の問題にとどまらず、人口減少、町内会加入率の低下、管理運営の民間委託化を踏まえた地域コミュニティ政策に関わる計画である。町内会を基礎とした利用・管理の前提が民間委託に移行しており、現状に即した計画として整理する必要がある。地域集会施設の再整備は、施設の老朽化対応や公共施設マネジメントの一環であると同時に、人口減少社会において地域のつながりをどのように支えるのかという政策課題でもある。現状に即した計画として整理するため、常任委員会としての見解を整理し、次期計画に反映すべき視点として町に示す必要があると考えます。
(2) 質疑（討論）等から
2 他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等
(1) 一般質問から
(2) 質疑（討論）等から
3 議会運営全般に関する検討（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの）
4 その他（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの、審議方法などで分らなかった点など）

6月定例会議 振り返り事項

※各委員は委員長が定める期日までに、委員長にご提出ください。

※委員長は委員会内で協議を済ませ、議長に提出ください。

氏名 菊池 秀明

1	自らが所属する常任委員会で追跡調査すべきと考える政策・事務事業等
(1)	一般質問から 地域集会施設のあり方と地域コミュニティ政策について 今回の一般質問では、地域集会施設の維持管理手法ではなく、人口減少社会における地域コミュニティのあり方という視点から質問を行った。 町は、地域コミュニティのあり方については総合計画で整理し、地域集会施設再整備計画は施設整備の方針を定める計画であるとの考え方を示した。一方で、市街地集会施設の民間委託導入により、地域による維持管理から民間主体の管理運営へと手法が変化しており、施設運営のあり方は地域コミュニティのあり方にも大きく影響すると考える。 委員会調査では、地域集会施設を単なる施設としてではなく、地域主体性を育み、地域活動を支えるコミュニティ拠点としてどのように位置付けるのかという視点を持ちながら、 ・民間委託の成果と課題の検証 ・利用者や地域住民の意見把握手法 ・地域主体性を支える仕組みづくり ・総合計画と再整備計画との関係整理 について継続して調査を進める必要がある。 また、長野県伊那市などの先進事例を参考に、 「施設を維持するためのコミュニティ」ではなく、 「地域活動を支えるための施設」 という視点から、芽室町における地域コミュニティの将来像を整理し、再整備計画への反映を検討していきたい。
(2)	質疑（討論）等から
2	他の常任委員会に追跡調査を依頼したい政策・事務事業等
(1)	一般質問から
(2)	質疑（討論）等から
3	議会運営全般に関する検討（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの）
4	その他（定例会議を通じて、改善に向けて取り上げるべきもの、審議方法などで分 からなかった点など）